

## 事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和2年12月21日

協議会名:	長泉町地域公共交通協議会
評価対象事業名:	地域公共交通調査事業(計画策定事業)
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>本町は、静岡県の東部に位置し、人口43,457人(令和2年4月1日現在)、総面積26.63km<sup>2</sup>で、地形は北部の愛鷹山地と南部の黄瀬川低地に大きく区分され、北部から南部に向かって傾斜している。北部は森林や農地が広がり、大規模開発により整備された住宅団地やゴルフ場などがあり、国道246号以南の平坦な地域にコンパクトな市街地が形成されている。</p> <p>町内及び近隣にはJR東海道新幹線三島駅や東名高速道路沼津IC、新東名高速道路長泉沼津ICが立地しており、静岡市や東京方面への交通アクセスの利便性が高い。</p> <p>公共交通機関は、JR御殿場線の長泉なめり駅、下土狩駅、東海道新幹線三島駅を中心に、民間バス事業者7路線、町自主運行バス1路線が運行されている。民間バス路線では国庫補助路線として富士急シティバス(株)の駿河平線、桜堤線が運行しており、直近の収支状況は駿河平線が4,922千円の欠損、桜堤線が9,159千円の欠損となっている。</p> <p>平成30年10月に富士急シティバス(株)の御長屋線が平日撤退するなど、町内を運行する民間バス事業者の収支改善と運転手確保は依然厳しい状況が続くものと思われる。今後も不採算路線の撤退やデマンド乗合タクシー等の代替交通手段確保のニーズが高まるものと思われる。</p> <p>以上のことから、将来予想される人口減少・超高齢社会の到来に向け、町民のニーズに対応し、高齢者・障がい者が移動しやすいまちづくりのための全町的な公共交通網の配置が喫緊の課題となっていることから、全町的な視点から公共交通体系を構築し、町民等の移動を支えることのできる公共交通計画の策定が必要である。</p>